

「地域とともに育つ子供たち」

～学校・家庭・地域の連携の力～

運動会では、子供たちへの大きな拍手と声援が校庭いっぱいに広がります。地域の方々による見守り活動では、「おはよう」の温かな声が子供たちを迎えています。また、読み聞かせボランティアの皆様による絵本の時間には、子供たちが目を輝かせながら物語の世界に引き込まれていきます。学校には、日々、多くの地域の力が寄せられています。そして、その一つ一つが、子供たちの成長を支える大切な力となっています。

近年、少子化や地域社会の変化が進み、子供たちを取り巻く環境も大きく変わってきました。改めて見直されているのが、「学校・家庭・地域がともに子供を育てる」という考え方です。家庭での励みや地域の方々との関わり、多様な人との出会いを通して、思いやりや責任感、社会性などを身に付けていき



ます。地域の大人たちからかけられる言葉や、温かく見守られているという安心感は、自分が地域の中で大切にされている存在であることを実感していきます。そして、その経験が、自分のふるさとへの愛着や誇りを育てることもつながっています。

特にPTAの皆様や地域ボランティアの皆様には、学校行事への協力、環境整備活動、読書活動の支援など、多くの場面で学校を支えていただいています。子供たちのために時間を割き、力を尽くしてくださる皆様に、心より感謝申し上げます。現在、多くの学校では、「コミュニティ・スクール」の取組が進められています。学校が地域に開かれ、地域とともに歩むことで、子供たちの学びはさらに豊かなものになります。

学校には、子供たちの笑顔があります。その笑顔を支えているのは、家庭の温かな支えであり、地域の優しいまなざしです。校長会として、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たしながら手を取り合い、子供たちの学びと育ちがより豊かになるよう、そして、すべての子供たちが安心して学び、夢や希望を育むことのできる教育環境の充実に努めてまいります。

(北斗市校長会 谷川小学校

校長 沢田 慶毅)

生命の尊さを自覚し

自ら心身を鍛える

今日の社会において、子どもの体位と体力の不均衡や、心身の健康を阻害する環境要因の増加が指摘されています。子どもたちがたくましく生き抜くためには健康や安全の大切さに気づき、自ら心身を鍛え、生涯にわたって活力に満ちた生活を営む態度や能力を身に付けることが不可欠です。

そこで本会では「生命の尊さを自覚し自ら心身を鍛える態度や能力を身に付ける健康安全教育の充実」を研究主題に掲げました。家庭や地域、関係機関と連携し、調査や研修を通して、子どもたちの健康と安全の充実発展を図る活動を推進してまいります。

児童生徒が心身ともに健康でたくましく育つことは、すべての保護者や社会の共通の願いです。健康の保持増進は、日常の活動として生活化され、継続されなければなりません。本会は、次の三つの運営方針のもとで活動に当たって参ります。

- ①健康に関する現況を把握し、課題と対策を検討・実践すること。
- ②保健指導・保健管理の充実のため、研究会や研修会を開催すること。

③学校保健に関わる人々や関係機関・団体と密接な連携を図ること。

この方針に基づき、具体的には主に三つの事業を展開していきます。

一つ目は「調査研究・資料収集活動」です。児童生徒の体位や疾病異常等の集計・考察、特別な疾病等の調査を行い、科学的なデータを基盤とした健康づくりに役立てます。

二つ目は「実践交流活動」です。学校保健会研究大会や研修会を開催するほか保健に関する授業研究や実践交流を深めます。さらに、渡島学校保健会への協力など、広域的な研究大会にも積極的に参加します。

三つ目は「連絡提携活動」です。北斗市教育委員会、北斗市保健福祉課、北斗市思春期保健ネットワークといった保健関係機関や団体と、これまで以上に緊密に連携していきます。

子どもの健康安全教育の充実、学校・家庭・地域が手を取り合うことで初めて成果を結びます。

次代を担う子どもたちの輝く未来のために、今後とも本会の活動への温かいご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。

(北斗市学校保健会 会長

大野小学校校長 滝本 千晶)